

裁判官がドミニオンの監査報告：この機械は「組織的な詐欺を行う仕掛けだ」

法廷がミシガン Antrim 郡の機械の監査について詳細を公表

December 15, 2020

Jay Greenberg @NeonNettle



第 13 巡回裁判所判事 Kevin Elsenheimer が、爆弾的査察報告を公表した

ミシガンの裁判官が、Dominion 投票機械の監査について爆弾的報告を公表し、これらの機械とそのソフトウェアは「組織的な詐欺を行うようにデザインされたもの」であることを明らかにした。

この報告は、ミシガン州アントリム郡のドミニオン社の機械の、法科学的な監査を扱ったもので、トランプ大統領に投じられた 6,000 票が、「エラー」によって、民主党ジョー・バイデンに「入れ替わっていた」ことが発見された後、国家的な注目を浴びていた。

第 13 巡回裁判所のケヴン・エルゼンハイマー裁判官は、月曜日夜、この報告の保護命令の解除を命じ、監査の詳細を開封することを許可するとともに、一般に公開した。

報告によると、「ドミニオン投票システム」の法科学的監査を行って現れたこのデータ証拠は、ミシガン州のこの機械とソフトウェアは、詐欺を工作して、投票結果に影響を与えるように、デザインされたものであることが明らかになった。

「我々は、ドミニオン投票システムは、意図的に目的をもって、エラーを組み込み、組織的な詐欺を工作することによって、投票結果に影響を与えるように、デザインされたものと結論している」と、「連合安全保障オペレーション・グループ」の共同創設者 Russell Ramsland Jr. は、予備レポートで言っている。

「この機械は、膨大な数量の投票用紙エラーを、意図的につくり出すものだ。」



この裁定は、この報告を封印しておきたかった、ドミニオン社の役員たち（写真）にとって、大きな打撃である

「この電子操作による投票用紙は、次に、裁判のために移送されることになる」と報告は続く。

「意図的なエラーは、監視もされず、透明性もなく、また監査された様子もなしに、判定すべき投票用紙の量だけを増やすことになる。

「これが投票者詐欺や選挙詐欺につながっていく」と、ラムズランド Jr は説明する。

「我々の研究を根拠として、我々は、ドミニオン投票機械をミシガン州で使ってはならないと結論する」と彼は加えた。

「我々はさらに、アントリム郡の選挙結果もまた、確定してはならなかったと結論する。」

ラムズランドは、元レーガン政権の高官で、NASA や、サイバーセキュリティ専門家のチームで働いた人だが、今月の初めに、ある進行中の事件の一部として、アントリム郡のドミニオン製品を調査した。

このチームは、この郡の選挙管理サーバーについて、法科学的な複製装置を検査し、実行してみた。するとそれは、Dominion Democracy Suite 5.5.3-002 や、彼らの地方の所有地の、Dominion ImageCast システムで用いられている、コンパクトなフラッシュ・カードや、ドミニオン投票アシスト・ターミナルの用いている USB メモリー・スティック、および、投票所帳簿に用いられる USB メモリー・スティックを、作動させていた。

彼らは、X-Ways Forensics や、Blackbags-Blacklight Forensic Software、また Virtual Box など、他の道具も使っていた。

エルゼンハイマー裁判長は、「Bailey 対アントリム郡」訴訟の法科学的調査を認可した。これは、あの面目丸潰れの、投票すり替え郡の職員たちが、先月報告した、この件は、先に言われたような、人間的エラーの結果ではなかったかもしれない、という主張である。

アントリム郡の住人 William Bailey は、郡を相手取り、投票装置の不誠実を主張する訴訟を起こした。

月曜日、エルゼンハイマーは、調査の結果、この報告は公表されなければならないと裁定した。

エルゼンハイマーは、州と郡の職員たちが彼らの反対を取り下げた後、この報告を開封した。

ミシガン州務長官 Jocelyn Benson（民）は、この報告を「不正確、不完全で、誤導するもの」として却下しようとした。

「アントリム郡職員と州務長官ジョスリン・ベンソンは、トランプからバイデンへの票の〈すり替え〉による、上に詳述された間違いは、人間的エラーの結果であって、その原因は、投票の夜に先立って、マンセローナ町の図表作りキーのアップデートが、できなかったためであると言った」と、連合安全保障オペレーション・グループの報告では読める。

「我々はこれには同意せず、投票のすり替えが起こったのは、エラーをつくり出すようにデザインされた投票ソフトウェアに、組み込まれた機械のエラーによるものと結論する。」

先週末、エルゼンハイマー判事は、アントリム州選挙関係職員たちに命令し、選挙関係資料のすべてを保存し、トランプ陣営による法科学的監査の前には、この郡の「ドミニオン投票システム」の機械には一切触れないように命じた。

「アントリム郡の選挙役員たちは、ベイリーが、この郡の票の報告に見られる、ある矛盾に仲間を気づかせたために、〈人間的エラー〉によって、トランプからバイデンへ、6,000票もすり替わっている事実を発見した」と、The Daily Wire は今月初めに報告した。

ミシガンの州務長官ベンソンのオフィスは、この不一致を、〈人間的エラー〉として却下しようとした。

ある声明で、ベンソンのオフィスは、「事務員が偶然に、投票機械のデータを集計するのに使われたソフトウェアを、アップデートし損ない、非公的の結果を公表したものだ」と言っている。

「アントリム郡からの、非公式の結果の間違った報告は、アントリム郡のこの事務員による、偶然のエラーの結果である」と、この声明は述べた。

「この装置やソフトウェアは、機能の不具合を起こしておらず、すべての投票用紙は正しく図表化されている。」

一方、司法副長官 Erik Grill は、この監査の分析は「不正確で、不完全で、誤導するものだ」と主張している、と、ザ・デトロイト・フリープレスは、月曜日に報じた。

「隠す理由は何もない。隠すものは何もない」と、グリルは言っている。



ミシガン州務長官ジョスリン・ベンソン（民）は、この報告を「不正確、不完全、かつ誤導するもの」として、却下しようとした

グリルによれば、ベンソンはこの報告の公表に反対だったのを撤回したが、その理由は、ベイリーの弁護士が記者団にインタビューし、選挙結果とベンソンについて、言い分を述べたからだ、と Daily Wire は言っている。

「この報告を抑圧するどんな試みも、今では、間違っ、隠ぺいの試みと見られるだけでしょうと、この弁護士は言った」と、フリープレスは報じている。

「ドミニオン投票システムと、ミシガン州務長官オフィスは、アントリム郡に関する間違っった情報について、注意を促し続けている」と、デトロイト・ニュースは報じた。

ドミニオン社は声明で、月曜日、このエラーは、職員たちがプログラムをアップデートしなかったために起こったものだと言い、このエラーは選挙後の集会の過程で、発見されたものだと強調した。

「選挙後の集会過程は、エラーの発見のために設けられたもので、まさにそこで、これらのエラーが見つかったのだ」と、この会社は言った。

「驚くべきだが残念なことは、このグループの第一の目標は、選挙に対する大衆の自信を失わせるように目論まれた、間違っった情報を、拡散し続けることだ」と、ベンソンの代弁者 Jake Rollow は言った。

トランプは、アントリム郡を、約 4,000 票で勝利したが、この州を約 154,000 票で失った。

[Greatchain 訳注]

今、大局的な観点に立ち、かつ細かい点を見ていくと、いくつか不思議なことが起こっているのに気づく。そもそも、トランプが邪魔なら、なぜ暗殺しないのか？ 「彼ら」は明らかに「毒食わば皿まで」という、自暴自棄で、「白昼堂々」と言われるような、大胆な選挙詐欺を行っていて、メディアも、この大規模詐欺（地球的大罪）を見えないことにして、突っ走ろうとしている。それだけのクソ度胸があれば、トランプ一人の暗殺など簡単なはずである。また、なぜわざわざ、バイデン父子（または家族）という最も弱い、明らかに犯罪者である者たちを、先頭に立てたのか？ 現に、多くの解説者が言うように、現時点ですでに、決定的な弱点を暴かれ、「バイデンは終わった」と言ってもいいようである。

何かこの大統領選全体に、初めから筋書きが決められていて、我々をある方向へ向かわせる、大きな意志が働いているかのようなのである。そしてそれは、仮にこのままバイデンが終わっても、案外長続きしても、この決められたものは、変わらないと思われる。そして最も重要なことは、今アメリカの民衆が、それに気づき始めてのではないだろうか？ 神は曲がった線を用いてまっすぐに書く。